

特別・特定医療法人社団 **松涛会** 彦島内科 ●山口県下関市

蓄熱システムの導入で、医療・福祉が一体となったサービスの充実を図る

【贈呈理由】増改築にあわせ環境性・経済性に優れたヒートポンプ給湯機を導入



彦島内科

特別・特定医療法人社団松涛会は、1960年に下関市彦島江の浦町で「斎藤内科」を開業した。時代・地域のニーズに沿い、現在は下関市内(安岡・山の田・綾羅木・彦島地区)で11施設・31事業所を運営。病院や診療所を核とし、医療・福祉が一体となったサービスを提供している。

2025年には高齢者割合が約30%となり、癌・脳卒中・認知症などの患者が増加する見込みであり、松涛会では、緩和ケア(ホスピス)病棟・回復期リハビリテーション病棟・グループホームを設置、充実を図っている。また今後の医療制度改革に備え、医療必要度の高い患者の治療を中心に急性期病院からの受け入れを行う一方、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・訪問介護など、さらに在宅医療・在宅介護にも力を入れ、豊かな医療・福祉サービスが行えるようスタッフ全員で取り組んでいる。

オール電化システムを積極的に導入

「医療・介護・福祉施設の連携により、地域社会に貢献します～あなたの喜びが、私の生きがいです～」を理念に掲げ、質の高い医療・看護・介護の提供とともに、中庭にバラ園やイングリッシュガーデンを設けるなど、心温まる癒しの環境をつ

くっている。

地域医療の発展に貢献するため、10年にはオール電化システムを導入した高齢者専用賃貸住宅「ケアタウン山の田」を新設。さらに今回は、松涛会の前身である斎藤内科を彦島内科に変更し、老朽化していた既存のガス給湯設備を業務用エコキュートに更新した。安全性・ランニングコスト削減・メンテナンスの簡素化・環境負荷の低減などを総合的に評価した結果、蓄熱システムをはじめとしたオール電化システムの導入となり、地域の人々が安心して利用できる施設となっている。

省CO₂と省コストを同時に達成

業務用エコキュートの導入により、24時間いつでもお湯が使用でき、冬期のお



業務用エコキュート

湯切れや故障もなく、安心して使用している。割安な夜間電力の有効利用で昼間の最大電力を抑制し、電力負荷の平準化を実現。ランニングコストも大幅に削減したことで、省CO₂と省コストを同時に達成することができた。

松涛会の各施設は県内外の医療・福祉関係者からの注目度が高く、モデルケースとして視察依頼も多い。今後も他施設への波及効果が期待されている。

一次エネルギー消費量削減効果

今回採用 業務用エコキュート

【従来方式】 ガス給湯器



【諸元】 同一負荷条件による
年間シミュレーション比較(2011年度「蓄熱制御」適用電力量)実績を考慮
一次エネルギー原単位
電費(夜間):9.28MJ/kWh(※1) / 都市ガス:46MJ/Nm³(※2)

(※1)エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則(10年改正)
(※2)都市ガス発熱量(山口合同ガスHP)

彦島内科

所在地:山口県下関市彦島江の浦町9-4
建築設計:福永建設(株)
建築施工:福永建設(株)
蓄熱設備設計:和田電機(株)
蓄熱設備施工:和田電機(株)
延床面積:1,873m²
竣工:2011年(更新)

蓄熱設備概要

業務用エコキュート 56kW×1台(三菱電機)
貯湯槽:6m³